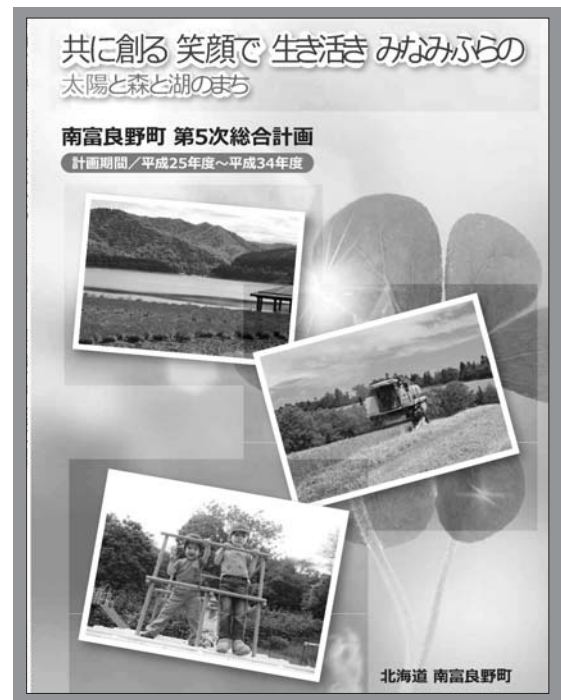




共に創る 笑顔で 太陽と森と湖のまち

南富良野町 第5次総合計画 が策定されました。 生き活き みなみふらの

南富良野町第5次総合計画が策定されました。
この計画は、これまで取り組んできたまちづくりを継承し、急速に変化する社会・経済情勢に対応しながら、すべての住民が笑顔にあふれ、安全・安心して住み続けられる魅力ある町を目指して、平成25年度から向こう10年間を期間とするまちづくり計画です。
「南富良野町第5次総合計画」の概要については、今月号と7月号にわたりお知らせいたします。



計画の目的と役割

本町では、平成14年度に第4次総合計画を策定し「まほらの 南富良野―瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのび、みなみふらの―」を将来像に掲げ、平成15年度から平成24年度までの10年間、計画的なまちづくりを進めてきました。

その間、少子高齢化の進行や地球規模での環境問題の深刻化、国・地方の財政状況の悪化、社会・経済構造の急激な変革、さらには地方分権・地域主権の進展など、本町を取り巻く状況が大きく変化しています。

総合計画は、南富良野町のまちづくりにおいて最上位に位置づけられる計画で、今回策定した「第5次総合計画」は、これまでのまちづくりを更に発展させながら、新しい時代に対応できるように、今後10年間の進むべき方向と基本施策などを明らかにすることを目的とし、また、住民と行政が協力してまちづくりを推進するための指針となります。

策定にあたっては、住民参加による計画づくりを進めるため、町民からの一般公募と町内各団体の代表者20名からなる「南富良野町第5次総合計画審議会」を組織して素案を作成しました。

平成24年2月に計画の策定について池部町長から審議会の曾慶一会長に諮問され、住民アンケートや住民懇談会等の意見を踏まえながら約1年をかけて精力的に策定作業が進められ、平成24年12月10日に町長へ答申されました。
これを同月開催の町議会定例会に提案し議決を受け、平成25年4月から新しいまちづくりがスタートすることになりました。

計画の構成と期間

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成されています。平成25年4月から平成35年3月までの10年間を期間とする基本構想には、まちの将来像、分野別の基本目標、将来の人口目標などを明らかにしています。

また、同じく10年間を期間とする基本計画には、基本構想を実現するための各部門の現状と課題、基本方針など取り組むべき施策を定めています。
実施計画は、基本計画を具体化し、実施年度や事業費を定めた計画で、5年間を期間として作成し、毎年度ローリング方式で策定します。

年度 (西暦)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	34 (2022)
基本構想	平成25年度～平成34年度									
基本計画	平成25年度～平成34年度									
実施計画	前期 平成25年度～平成29年度					後期 平成30年度～平成34年度				

基本構想

まちの将来像
「共に創る 笑顔で 生き活き
みなみふらの
―太陽と森と湖のまち―」

この将来像は、農林業・商工鉱業・観光などの地域産業の活性化や保健・医療・福祉の充実、安全・安心・快適な生活基盤・生活環境づくり、次代を担う子どもたちの育成、住民と行政が協働するまちを目指し、すべての住民が笑顔にあふれ、安全・安心して住み続けられる魅力あるまちを表現しています。

分野別の基本目標

1 次代へつなぐ活力ある産業のまちづくり(産業分野)
次代へつなぐ持続可能な地域産業づくりに向け、農林業、商工鉱業、観光、福祉など振興に努めるとともに、各産業が連携した6次産業や再生可能エネルギーなど新たな産業の創出に努めます。また、住民が地域商店に親しみをもち、互いに支え合う商店街づくりを目指します。
自然に恵まれた本町の特性を活かした自然体験観光の振興と食産業・